

## JN 4.7-14 の注釈 デイリー ジーザス ニュース #044

### JN4.9

イエスの水飲みの要求 ( 4.7 ) はサマリア人の女性の心を驚かせました。彼女はすぐに信じられないという思いを表明し、自ら質問しました。 **「あなたはユダヤ人であるにもかかわらず、どうして私のようなサマリア人の女性に水飲みを求めるのですか？」** 4.9

この文の文法的構造から、彼女にとって、イエスがユダヤ人であるという事実は、彼女に話しかける可能性を自動的に排除するはずであることは明らかです。しかし、イエスはそうしました。イエスは、まったく予想していなかった要求で彼女の注意を引きました。社会の期待や偏見をこれほど完全に無視する人は、いったいどのような人なのでしょう。

イエスは、いつものように、女性の直接の質問を無視し彼女の必要の核心とイエスの解決策に直接進みます。イエスは、すべての未信者に当てはまる発言を、します。イエスの返答を完全に理解するには、この鋭い発言を構成要素に分解する必要があります。

### ヨハネ4.10

**「もしあなたが知っていたら...」** このフレーズは、**「事実と反する」** 条件文、つまり「非現実的な」条件を導入しています。言い換えれば、イエスは仮定の状況を設定しています。イエスは、彼女が実際には知らなかったいくつかのことを知っていたらどうなっていたかを説明しています。そして、彼女は実際にはそれらを知らなかったため、結果は彼女には当てはまりません。つまり、まだ当てはまらないのです。

イエスが示唆しているのは、もし彼女が実際にこれらのことを知るようになったら、彼女は将来その結果を経験できるということです。イエスは、彼女がイエスに出会うまで可能だとは知らなかったことを経験するための扉を彼女に開いています。

問題は**「知ること」** であることに注意してください。イエスは、**「ご自身が明らかにするために来られた真理を」** 知ること」に非常に重きを置いています。救いは、**「イエスがそれを提供するためになされたことのおかげで可能になりますが、イエスがなされたことの恩恵を体験するためには、すべてはその真理を」** 知ること」にかかっています。

新約聖書では、救いは本質的には私たちが**「知っている」** こと、したがって信じることの問題であり、私たちが何をするかしないかの問題ではありません。知識が救いの鍵です。知識がなければ、何も受け取ることができません。そして、イエスは私たちが知る必要のあることの啓示として来られました。イエスは、私たちが彼の言うことを信じて受け取るために知る必要のあることを知る方法なのです。

イエスはこの女性に ( そして私たちにも )、二つの重要な真実を知る必要があると語りました。

( 1 ) 神の賜物とは何か

## JN 4.7-14 の注釈 デイリー ジーザス ニュース #044

( 2 ) この贈り物の贈り主は誰か

会話の残りの部分では、これら 2 つの重要な真実についてさらに詳しく説明します。

10-14節では賜物について説明しています。

15-26節と39-42節では与える者について説明しています。

まず、イエスはこう言います。 **「あなたが神の賜物を知っていたなら...」** 神の賜物は永遠の命です。これはイエスがニコデモに語った賜物と同じです。ニコデモは聖書学者だったので、イエスは聖書のイメージや言葉遊びを使って永遠の命、つまり神から彼に与えられた無償の賜物について説明しました。サマリアの女は聖書の訓練や深い理解を持った人ではなかったので、イエスは手元にあるもの、つまり水のたまった井戸を使って彼女に神の賜物について説明しました。賜物を求めるためには、人はそれが何であるかを ( 頭と心で ) 「知る」必要があります。

逆に言えば、聞いたこともない無償の贈り物を求める人は誰もいません。ですから、この会話の中でイエスは、この女性に永遠の命という贈り物について驚くべきことを話そうとしているのです。

それからイエスは二番目の真理を付け加えます。 **「もしあなたが知っていたなら...」** **水を飲ませてください」と言っているのがだれであるか...** すべての贈り物には贈り主がいます。贈り主を知ることによって、彼らが提供している贈り物を受け取る可能性が開かれます。

ここでの疑問は、 **「イエスとは誰なのか？」** です。イエスは会話の残りの部分の大半を、彼女に対してイエス自身の正体を説明することに費やします。イエスが偏見なく接するその過激な性質から、彼女はすでにイエスが誰なのか疑問に思っています。明らかにイエスは典型的なユダヤ人ではありません。では、イエスは誰なのでしょう？これは永遠の疑問です！

サマリアの女は追放された罪人でした。彼女は聖書の学者ではありませんでした。しかし、ニコデモとは違い、彼女はイエスの啓示に非常に迅速に反応したことがわかります。この会話を通して、彼女がイエスにつける呼び方が急速に変化し発展していく様子をたどります。彼女がイエスを **「ユダヤ人よ」** と呼んでいることに注目してください。4.9 会話の終わりには、彼女はイエスを **「世界の救世主」** と呼んでいます。

彼女は与え主を知るようになり、そのため神の賜物も受け取ることができました。彼女はイエスの救いの知識によって変えられた人の素晴らしい模範です。恵みは、最もありそうもない罪人でさえ神を知ることが可能にし、その結果、神の豊かな命の質という賜物を受け取ることを可能にします。

## JN 4.7-14 の注釈 デイリー ジーザス ニュース #044

**「この水を飲む人は皆、また喉が渇くでしょう。」**

女性はこう尋ねました。 **「あなたはヤコブより偉いのではないですか。」** イエスはいつものように、女性の質問に直接答えません。しかし、イエスの二面的な返答（ヨハネ4:13-14）は、彼女の質問に十分に答えています。なぜなら、そこにはイエスの全宣教活動の中で最も素晴らしい約束の一つが含まれているからです。

ヤコブの豊かな井戸は、1800年にわたって継続的に使用され、数え切れないほど多くの人々や動物に水を供給してきました。しかし、問題がありました。この水は、永遠に渇きを癒すことはできませんでした。そのため、井戸への旅を何度も繰り返さなければならませんでした。水は、呼吸に次いで2番目に基本的な生命の必需品です。私たちはみな、絶えず水を渴望し、また渇きを感じています。

イエスは、生命にとって聖霊が必要であることを例証するために呼吸のイメージを使ったのと同じように、私たちが神を信じるときに聖霊が私たちの中に解き放つ神の生命の質を例証するために **「生ける水」も使いました**。女性はまだこの点に気づいていませんが、すぐに気づくでしょう。

**「この水を飲む者はみな、また渇く」**と言われた時、水以上のことを話していました。イエスは魂の渇きについて語っており、肉体の渇きについて語ってはいません。イエスが与えてくださった生ける水がなければ、私たちはみな渇いてまた渇くというサイクルを繰り返します。この女性のように、イエスがここで何を言っているのか理解しない限り、私たちは一生渇き続ける運命にあります。肉体にとって水がそうであるように、魂にとって聖霊はそうなのです。ですから、聖霊を与えるイエスの能力は、イエスをヤコブより計り知れないほど偉大な者にしているのです

サマリアの女は明らかに、男性との関係において愛と満足感を求めていました。しかし、何度その水を飲んでも、また渇きを覚えました。5人の夫と結婚した後も、彼女はまた渇きを覚えていました。

人間は三位一体の関係の中で満たされるために三位一体によって創造されました。神を求める私たちの魂の渇きを、他のいかなる「水」も満たすことはできません。私たちはさまざまなことを試みますが、神のみが満たすように設計された渇きを、神自身以外の何物も癒すことはできません。

この事実を知らない人々は、お金、友人、名声、ファッション、麻薬、趣味、スポーツ、快楽、音楽、芸術、子供など、無駄なもので精神的な渇きを満たそうとします。これらのほとんどは良いものです。しかし、それらは私たちの心に入り込み、聖霊だけができることのように、私たちを神の愛、喜び、平和で満たすことはできません。人生で神の代わりになるものは何でも、やがて私たちを渇かせ、満たされないものにすることは間違いありません。肉体の渇きに対する水のように、精神的な渇きに対するイエスの賜物である聖霊。

創造主であるイエスは、このシンプルな言葉で深遠な真実を明らかにしています。イエスは私たちを霊的存在として機能させるように設計し、聖霊を常に満たす生命と力として与えています。呼吸と水は、

## JN 4.7-14 の注釈 デイリー ジーザス ニュース #044

最も基本的なレベルで私たちの生命を支えています。空気がないと、私たちは数秒のうちに空気を見つけないという激しい衝動に駆られます。水がない時間が長くなればなるほど、喉の渇きは強くなります。

同じことが霊的にも当てはまります。「渇き」、つまり自分の必要に対する認識は、価値の低いものに頼るのではなく、イエスを信じ、聖霊に頼って満たされることにつながるはずです。

### ヨハネ4.14

**「しかし、わたしが与える水を飲む者は、決して渇くことがない。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠の命がわき出る。」**

イエスはこの節で、豊かさが増していく壮大な過程を説明しています。まず、イエスは信じて求める人に「生ける水」を一口だけ飲ませます。これは、イエスが創造した他のどの「飲み物」とも異なります。なぜでしょうか。なぜなら、この一口が次に生ける水の「泉」に変わるからです。

「泉」とは、小川や川の源です。言い換えれば、一口の水を飲むと、それが「生ける水」の絶え間ない流れの源となり、個人の内なる聖霊の川となります。そして、この「泉」は信者の内にあるため、他のどこかに「行って」水を飲みに行く必要はもうありません。泉は、いつでも手近で、尽きることなく供給される水源なのです。

の約束には、まだ続きがあります。ヤコブの井戸の水を得るには、ロープと壺、または水袋を使って井戸の奥から水を汲み上げなければなりません。それは骨の折れる仕事で、一滴の水を得るために一生かけて繰り返さなければなりません。そこでイエスはこの重荷を取り除いてくださいました。「泉」は、非常に力強い水の流れで、次に地面から湧き出る「泉」となり、人が口を開けるだけで、生ける水が流れ込んでくるのです。

「複数の川」となってあらゆる方向に流れ出ると約束しています。やがて川は湖を形成し、海を満たすでしょう。

たった一杯のドリンクでこれだけのものが手に入ります！

**この飲み物、泉、水、川の流れは、聖書全体の中で聖霊の豊かな命を最も力強く描写しています。イエスは、誰よりも、社会的に最も低い階級で、公に罪を犯した人、つまり追放されたサマリア人の女性に、その恵みを与えました。なんという恵みでしょう。ヨハネが次のように書いたとき、彼が念頭に置いていたのは、イエスとのこのような出会いでした。「私たちはみな、その満ちあふれる豊かさの中から、恵みに次ぐ恵みを受けました（力強く流れる川のように）」 1.16**

## JN 4.7-14 の注釈 デイリー ジーザス ニュース #044

イエスは、この約束を理解し、十分に感謝できる霊的な感受性と洞察力を持つ人にこの約束を与えることができて、大喜びでした。彼女の過去は、イエスの赦しによって全く無意味なものとなり、彼女の将来の人生はイエスと一体となり、イエスの霊と御言葉で満ち溢れるでしょう。恵みはそれを可能にします。そして彼女はその飲み物を飲む準備ができていました！

「さらなる」霊的祝福と充足感であなたを誘惑する教えには注意してください。このような約束は、そうした誤った半真実を打ち砕くはずです。

神は宇宙のあらゆるものの創造者、維持者、そして支配者です。そして三位一体の各位は、神性の完全性をすべて所有しています。私たちがイエス様を信じる時、神の完全性はすべて聖霊の人格において私たちの内に宿ります。たった「一杯」、つまり初めて聖霊を内なる存在に受け入れるということは、その瞬間から永遠に神の完全性がすべて私たちの内に宿ることを意味します。

神が、私たちがすでに受けた以上のものを私たちに与えることは絶対に不可能です。

**湧き出る泉となる飲み物。**

**ほとばしる泉となって噴出する泉。**

**乾いた大地に水を供給する、複数の強力な川の源となる泉。**

**これはキリストにおけるあなたの人生を表現していますか？**